

組織としての文書番号を付番していない場合、空欄で結構です。

● 協議会第〇〇〇〇号
平成 29 年 7 月 5 日

文化庁長官 殿

代表者氏名は、記名+押印としてください（印は協議会印もしくは代表者私印）。

団体名 〇×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会
住所 〇〇県〇×市〇〇町1-1-1
代表者職名 〇〇長
代表者氏名 〇〇 〇〇 (印)

平成 29 年度文化芸術振興費補助金（歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業）交付要望書

平成 29 年度文化芸術振興費補助金（歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

事業全体の名称	〇×市城下町再生による観光拠点形成推進事業		
補助対象経費の配分	主たる事業費	16,769,000 円	様式2-2の総事業費欄の額を記入してください。
	その他事業費	250,000 円	
	合計	17,019,000 円	
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手	交付決定日以降	
	完了	平成30年 3 月 31 日	
補助金の交付要望額		14,500,000 円	様式2-2の交付要望額合計欄の額を上段に、総事業費合計欄の額を下段に記入してください。
	(補助対象経費)	17,019,000 円	
			の定額)

<担当者連絡先> ※実担当者の連絡先をご記載ください。

所属	〇×市〇〇課〇〇係		
(ふりがな)	そうせい じろう		
氏名	創生 二郎		
電話番号	(×××) ×××-××××	FAX番号	(×××) ×××-××××
E-MAIL ※記載誤りのないようご注意ください。	t-bunka02@city.〇×.lg.jp		
書類等の郵送先	〒×××-×××× 〇〇県〇×市××町●●-●		
その他（日中連絡先）	(×××) ×××-××××		

(記入要領)

事業区分(情報発信、人材育成、普及啓発、活用整備、事業構想の取組、事務経費)ごとに必要事項全てを記入してください。

様式2-1

<平成29年度事業計画書>

事業区分	情報発信	事業名	文化財情報発信推進事業			
実施団体	〇×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会		事業期間	平成 29 年度	～ 平成 31 年度	
平成29年度事業の目的、内容、対象等						
<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドを含め観光旅行者等に〇×市の歴史や文化を深く理解してもらうために、魅力が伝わるよう情報発信を推進する。また、現在は城跡となっている〇×城や城下町の江戸時代の様子を疑似体験できるようにAR技術による展示アプリを導入し、周遊人数を増やす。 <p>(内容等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①案内板の整備(デザイン刷新と多言語対応) 場所: 〇×城跡、〇×市歴史資料館 数量等: 10箇所。4か国語(英・仏・中・韓) 時期: 9月～12月 デザイン検討 1月 設置 ②AR技術による展示アプリ導入 場所: 〇×城跡、〇×市〇〇伝統的建造物群保存地区 時期: 9月～11月 仕様作成 12月 入札・発注 3月 納品 						
平成29年度以降の事業予定等						
<ul style="list-style-type: none"> ・案内板の整備は計画的に実施し、平成30年度以降は〇×市〇〇伝統的建造物群保存地区を対象とする(⑩10箇所⑪10箇所)。 ・今回の〇×市城下町再生の取組について、平成30年度に協議会ホームページを新設する。 						
評価指標の項目	11 その他					
具体的な指標	〇×城跡及び〇×市歴史資料館の来場者数					
目標値	平成 28 年度	1,000 人	⇒	平成 31 年度	5,000 人	
事業区分	人材育成	事業名	城下町文化観光ガイド養成事業			
実施団体	〇×市観光協会		事業期間	平成 29 年度	～ 平成 31 年度	
平成29年度事業の目的、内容、対象等						
<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光旅行者等に〇×市の歴史や文化を深く理解してもらうために、市内の周遊を促す文化観光ガイドを新たに養成する。 <p>(内容等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座の実施 期間: 9月から3月までの間で全10回 対象: 〇×市民など50名程度を公募 						
平成29年度以降の事業予定等						
<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座は平成30年度からは年2回行う。 ・養成した文化観光ガイドを活かし、まち歩きを毎週日曜日に定期的に開催する。参加者から参加料を徴収して文化観光ガイドの活動費用をまかない、活動が持続できるような体制をつくる。 						
評価指標の項目	4 文化観光ガイドの登録者数					
具体的な指標	文化観光ガイドの登録者数					
目標値	平成 28 年度	0 人	⇒	平成 31 年度	250 人	
事業区分	普及啓発	事業名	城下町体験イベントの開催事業			
実施団体	NPO法人〇×の歴史文化の会		事業期間	平成 29 年度	～ 平成 31 年度	
平成29年度事業の目的、内容、対象等						
<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇×市の城下町再生の取組を広く周知・PRするためにイベントを開催する。 <p>(内容等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフシンポジウムの開催 時期: 11月中旬 場所: 〇×市歴史資料館大会議室、〇×城跡 人数: 500名 内容: 基調講演、パネルディスカッション、××太鼓踊りと〇×高校吹奏楽部のコラボコンサート 等 						
平成29年度以降の事業予定等						
<ul style="list-style-type: none"> ・〇×城跡のユニークベンチャーとして、戦国チャンバラ合戦や〇×市指定無形民俗文化財の××太鼓踊りと文化団体とのコラボコンサートを年6回程度開催する。 ・〇×市〇〇伝統的建造物群保存地区内の●●家住宅内で郷土料理体験の講座を開催する。 ・人材育成事業で養成した文化観光ガイドによるまち歩きを毎週日曜日に定期的に開催する。 ・〇×市の文化財トレーディングカードを作成し、まち歩きイベントと連携し配布する。 ・夏休み期間中に〇×駅と〇×城跡等の歴史文化資源を周遊するバスの実証実験を実施する。 						
評価指標の項目	2 新たに開発された文化財を活用した催し、体験プラン、ツアー等の数					
具体的な指標	〇×市城下町再生関係のイベント、体験プラン、ツアー等の数					
目標値	平成 28 年度	10 件	⇒	平成 31 年度	100 件	

評価指標の項目の選択理由や目標値の設定の考え方については、ヒアリング(7月下旬～8月上旬を予定)などの際に質問するので整理しておいてください(以下、同じ)。

事業区分	活用整備	事業名	城下町周遊環境整備事業			
実施団体	①〇×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会 ②●●家住宅保存会		事業期間	平成 29 年度	～	平成 31 年度
平成29年度事業の目的、内容、対象等						
<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇×市の城下町周遊を促す環境整備として、以下の文化資源内で施設の整備を図る。 <p>(内容等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①〇×城跡内のトイレ整備 (和式→洋式) 時期：9月～11月中 設計 12月 入札 1月～3月 工事 ②●●家住宅の改修 (郷土料理体験スペース設置、宿泊施設としての整備) 数量：1棟 時期：～3月 改修設計委託 ※改修の概要、整備の必要性等については別添資料を参照 						
<p>応募書類の提出時点では簡単な概要のみの記入で構いませんが、ヒアリング時点 (7月下旬～8月上旬に予定) までに、施工箇所の位置図や整備イメージ、工程表を用意してください。また、宿泊施設など収益を伴う整備を実施する場合は事業収支見通しなど補足資料を用意してください。</p>						
平成29年度以降の事業予定等						
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、〇×市〇〇伝統的建造物群保存地区内の●●家住宅の改修工事を実施する。 平成31年度は、文化財周遊サイン (案内) の統一的整備を実施する。 						
評価指標の項目	9 市区町村への入込観光客数					
具体的な指標	〇×市の入込観光客数					
目標値	平成 28 年度	12,381	人	⇒	平成 31 年度	20,000 人
事業区分	事業構想の取組	事業名	事務費			
実施団体	〇×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会		事業期間	平成 29 年度	～	平成 31 年度
平成29年度事業の内容						
<ul style="list-style-type: none"> 文化庁との事業計画に関する打合せ等 						

※事業区分ごとに必ず該当の記入欄を使用し、一の事業区分で複数事業を実施する場合は、適宜記入欄をコピーして使用してください。
 ※評価指標を一事業について複数設定することも可です。

<収支予算書 歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業>

▼収入の部

区分	金額 (予定を含む。)	内訳
収入の部		
本事業以外の補助金・助成金	1,500,000	○×市補助金
その他収入	19,000	○○寄付金
小計(A)	1,519,000	
自己負担金(B)	1,000,000	●●家住宅保存会負担 1,000,000
本事業による補助金の交付要望額(C)	14,500,000	
①収入合計 (A) + (B) + (C)	17,019,000	

事業の遂行により生ずると見込まれる収入金(チケット代、参加費、受講料等)は全て計上してください。

交付要望額は千円未満切捨てとなります。千円未満の端数が出る場合は、自己負担金で措置してください。

同額になるようにしてください。

▼支出の部 → 詳細は <支出内訳明細> (様式2-3) に記載

区分	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
		交付要望額	自己負担額等	
主たる事業費	16,769,000	14,250,000	0	2,519,000
情報発信事業	2,500,000	2,000,000	0	500,000
人材育成事業	500,000	500,000	0	0
普及啓発事業	1,769,000	1,750,000	0	19,000
活用のための整備に係る事業	12,000,000	10,000,000	0	2,000,000
事業を構想するために必要な取組	0	0	0	0
その他事業費	250,000	250,000	0	0
②支出の合計	17,019,000	14,500,000	0	2,519,000

<参考> 次年度以降の補助事業の予定

総事業費の予定の額を記入してください。(単位:千円)

区分	平成30年度	平成31年度	合計
情報発信事業	1,300	1,000	2,300
人材育成事業	1,000	1,000	2,000
普及啓発事業	5,000	3,800	8,800
活用のための整備に係る事業	12,000	12,000	24,000
事業を構想するために必要な取組	0	0	0
その他事業	200	200	400
合計	19,500	18,000	37,500

<支出内訳明細>

(事業区分) **情報発信**

費用をリストから選択し、右側に何に対する経費かを記入してください。

単価、数等を記入してください。右側の総事業費は自動計算されます。自己負担額等は手入力ください。

事業名称	経費内訳	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
			交付要望額	自己負担額等	
文化財情報発信推進事業 (①案内板の整備)	【報償費】 外国語原稿執筆 @ 4,000 円 × 1 枚 × 4 国 ×	16,000	16,000	0	0
	【需用費】 案内板の整備 (見積番号①-1、①-2) @ 150,000 円 × 10 箇所 ×	1,500,000	1,000,000	0	500,000
	小 計	1,516,000	1,016,000	0	500,000
文化財情報発信推進事業 (②AR技術による展示アプリ導入)	【委託費】 AR展示アプリ導入業務委託 (見積番号②-1、②-2) @ 984,000 円 × 1 式 ×	984,000	984,000	0	0
	小 計	984,000	984,000	0	0
合 計		2,500,000	2,000,000	0	500,000

<支出内訳明細>

(事業区分) **人材育成**

上限単価を超える場合は補助金の充当はできませんので、補助対象外経費の欄に計上してください。また、単価等は募集案内「各費用における単価上限、補助対象外経費等」を参照ください。

事業名称	経費内訳	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
			交付要望額	自己負担額等	
城下町文化観光ガイド養成事業	【報償費】 講師 (講演) 謝金 @ 20,000 円 × 1 人 × 10 回 ×	200,000	200,000	0	0
	【旅費】 講師旅費 ※日当・宿泊費は含まれていない。 @ 10,000 円 × 1 人 × 10 回 ×	100,000	100,000	0	0
	【使用料及び借料】 会場借料 @ 15,000 円 × 10 回 ×	150,000	150,000	0	0
	【需用費】 資料印刷代 @ 1,000 円 × 50 部 ×	50,000	50,000	0	0
	小 計	500,000	500,000	0	0
合 計		500,000	500,000	0	0

<支出内訳明細>

(事業区分) **普及啓発**

旅費については、日当や宿泊費が含まれているかどうかについて記入してください。

事業名称	経費内訳	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
			交付要望額	自己負担額等	
城下町体験イベントの開催事業	【賃金】 会場整理等賃金 (会場設営・整理) @ 1,040 円 × 6 時間 × 1 日 × 20 人	124,800	124,800	0	0
	【共済費】 イベント保険 @ 40,000 円 × 1 式 ×	40,000	40,000	0	0
	【報償費】 シンポジウム出演者 (基調講演) 謝礼 @ 50,000 円 × 1 人 ×	50,000	35,000	0	15,000
	【報償費】 シンポジウム出演者 (パネルディスカッション) 謝礼 @ 15,000 円 × 4 人 ×	60,000	56,000	0	4,000
	【報償費】 コンサート出演料 @ 20,000 円 × 2 団体 ×	40,000	40,000	0	0
	【旅費】 シンポジウム出演者 (基調講演、パネルディスカッション) ※日当・宿泊費は含まれていない。 @ 5,000 円 × 5 人 ×	25,000	25,000	0	0
	【使用料及び借料】 会場借料 @ 18,200 円 × 1 回 ×	18,200	18,200	0	0
	【委託費】 照明、音響等操作 (見積番号③-1、③-2) @ 1,026,000 円 × 1 式 ×	1,026,000	1,026,000	0	0
	【需用費】 資料印刷代 @ 770 円 × 500 部 ×	385,000	385,000	0	0
	小 計	1,769,000	1,750,000	0	19,000
合 計		1,769,000	1,750,000	0	19,000

<支出内訳明細>

(事業区分) **活用整備**

事業名称	経費内訳	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
			交付要望額	自己負担額等	
城下町周遊環境整備事業 (①城跡内のトイレ整備)	【委託費】 設計委託(見積番号④-1、④-2) @ 2,000,000 円 × 1 式 × ×	2,000,000	2,000,000	0	0
	【(工事) 請負費】 トイレ整備 (和式→洋式) (見積番号⑤-1、⑤-2) @ 8,000,000 円 × 1 式 × ×	8,000,000	6,000,000	0	2,000,000
	小 計	10,000,000	8,000,000	0	2,000,000
城下町周遊環境整備事業 (②●●家住宅の改修)	【委託費】 設計委託(見積番号⑥-1、⑥-2) @ 2,000,000 円 × 1 式 × ×	2,000,000	2,000,000	0	0
	小 計	2,000,000	2,000,000	0	0
	合 計	12,000,000	10,000,000	0	2,000,000

<支出内訳明細>

(事業区分) **事務経費**

文化財の活用のための宿泊・休息・飲食施設等の機能整備や環境整備に係る工事等は、1年度当たりの補助金額の上限を1,000万円とするので、超過分は自己負担金等で措置することになります。

事業名称	経費内訳	総事業費	補助対象経費		補助対象外経費
			交付要望額	自己負担額等	
事務費	【旅費】 協議のための交通費 ※日当・宿泊費は含まれていない。 @ 50,000 円 × 2 人 × 2 回 ×	200,000	200,000	0	0
	【需用費】 資料印刷代 @ 500 円 × 50 人 × 2 回 ×	50,000	50,000	0	0
	小 計	250,000	250,000	0	0
合 計		250,000	250,000	0	0

※ 適宜行を追加・削除してご使用ください。

＜観光拠点として整備していく文化財の概要＞

文化財の名称	○×城跡
指定等の状況	○×市指定史跡（昭和60年■月■日指定）
文化財の概要 （歴史や由来など）	慶長■年、○○△△は××城に移り、翌■年・・・□□に築城、・・・・・・。■年、◎◎氏ここに封ぜられ、・・・・・・明治維新に至った。城は・・・・・・平山城であって、・・・・・・。頂部に方形状の本丸とこれを守る二の丸とを置き、城壁は石垣をもつて堅める。その裾には内堀をめぐらし、・・・・・・幅広き外堀とをもつて囲む。本城は・・・、現在内堀は一部を存するのみであり、且つ大手門と南門よりそれぞれ本丸に至る複雑な構が殆ど失われ、・・・・・・である。・・・・・・、方形状の曲輪が同心的に配置された縄張の典型を見ることができ、城郭史上価値ある遺跡である。
文化財の名称	○×市○○伝統的建造物群保存地区
指定等の状況	重要伝統的建造物群保存地区（平成19年■月■日選定）
文化財の概要 （歴史や由来など）	<ul style="list-style-type: none"> ・種別 城下町 ・面積 ●●ha ・伝統的建造物（建築物○件、工作物×件） ・環境物件 □件 ○○地区においては、○×城を核とした武家地や町人地の町割など江戸時代の城下町の基本構造を保ちつつ、近世から近代にかけて建てられた武家屋敷や商家、寺院などを残し、城下町の歴史的風致をよく伝えている。
文化財の名称	●●家住宅
指定等の状況	国登録有形文化財（平成5年■月■日登録）
文化財の概要 （歴史や由来など）	●●で財をなした●●の住宅として■年に建築され、■年から●●として用いられている。木造2階建てで、・・・・・・は、この地域の標準的な姿。・・・・・・を備え、伝統的な意匠でまとめるが、・・・・・・に洋風意匠も取り入れている。
文化財の名称	××の太鼓踊り
指定等の状況	○×市指定無形民俗文化財（平成5年■月■日指定）
文化財の概要 （歴史や由来など）	この芸能は、○○地区に伝えられているもので、早魃時に踊られてきた。雨乞祈願と降雨による感謝のための踊りで、○○地区の××神社、△△神社の境内で行われる。・・・・・・で、・・・・・・が特徴である。現在、○○地区住民を中心に保存会が結成され、次世代への継承が図られている。毎年、■月■日に披露されている。
文化財の名称	郷土料理（××、△△）
指定等の状況	特に指定等はなし
文化財の概要 （歴史や由来など）	江戸時代中期から、・・・・・・で●●の栽培が盛んとなり、これらを用いた××や△△が郷土料理として継承されている。・・・・・・において、・・・・・・となっている。

協議会等（補助の対象となる者）の概要

(ふりがな) 名称	○×しれきし……	(ふりがな) 代表者職名・氏名	○○ちょう ○○ ○○
	○×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会		○○長 ○○ ○○
所在地	〒×××-×××× ○○県○×市○○町1-1-1	電話番号	***-***-****
		FAX番号	***-***-****
団体設立年月	平成 29 年 8 月 (予定)		
役職員		構成団体	
○○長 ○○ ○○ (○×市観光協会理事長) 副○○長 ○○ ○○ (○×市歴史資料館館長) 監事 ○○ ○○ (○×市市民局観光振興課長) 会計 ○○ ○○ (○×市教育委員会○○課長)		○×商工会議所 (○○長 ○○○) ○×市観光協会 (○○長 ○○○) NPO法人○×の歴史文化の会 (理事長 ○○○) ●●家住宅保存会 (代表 ○○○○) ○×市	
設置目的や事務局 (経理含む) 体制 等	(設置目的の概要) 協議会は、○×市の歴史や文化をまちの誇りとして広く情報発信し、……などにより国内外を問わず多くの方に実際に来訪していただけるよう城下町○×の再生による観光拠点の形成に取り組み、……文化財を後世に継承や……などを設置目的とする。 (事務局体制) 事務局（経理含む）は○×市○○課内に置く。 ※協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿は別添のとおり		

※ 協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿を併せて提出すること。

見積番号④-2

平成〇年〇月〇日

見積番号④-1

平成〇年〇月〇日

見積書

〇×市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会 殿

〇×城下町再生に係るキックオフシンポジウムの照明、音響等操作業務について、下記のとおりお見積もりします。

(株)〇〇〇〇〇〇

代表取締役 〇〇 〇〇 印

金 1,026,000 円

事項	単価	数量	金額	備考
照明・音響技術者	9,400	20	188,000	@9,400×20人
機材借料	760,000	一式	760,000	機材一覧別紙のとおり
機材運搬料	50,000	一式	50,000	
値引き			▲ 48,000	
小計			950,000	
消費税(8%)			76,000	

- ※ 人件費については、内訳が記載されている必要があります。
- ※ 単価等は募集案内「各費目における単価上限、補助対象外経費等」(P4、P5)の基準を適用してください。
- ※ 使用料・借料、再委託費、消耗品費等について、一式記載のものは、内訳明細を添付する必要があります。
- ※ 発注予定金額が10万円(税込み)以上の場合、見積書を添付する必要があります。
- ※ 発注予定金額が100万円(税込み)以上の場合、複数者からの見積書を添付する必要があります。
- ※ 複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書(任意様式)を添付してください。
- ※ 実際の発注に当たっては、所在の市区町村の契約規則に規定する手続が必要です。
- ※ 宛て名は、協議会または構成団体宛てとしてください。